

# 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト

【推進エリア】道央広域連携地域（空知地域・石狩地域・後志地域・胆振地域）

**目的** 空知の「石炭」、室蘭の「鉄鋼」、小樽の「港湾」、そしてこれらを繋ぐ「鉄道」を舞台に繰り広げられた北海道近代化ストーリーである「炭鉄港」が2019（令和元）年5月に日本遺産へ認定され、その活用を通じた地域活性化に期待が寄せられる中、日本遺産を構成する各文化財等を道内外の産業遺産や鉄道遺産ファンなどへPRするとともに、次世代を担う子どもたちに向けた事業を展開するなど、地域特有の資源を活かした取組を推進し、交流人口の拡大を図る。

## これまでの主な取組・成果

### ■ 炭鉄港めしフェスタの開催 [振興局]

開催日：令和5年9月16日～17日  
 場所：岩見沢駅東市民広場公園  
 概要：いわみざわ情熱フェスティバルにおいて炭鉄港めしブースを開設し、5店舗が出店。



### ■ ANA公式サイトにおける日本遺産「炭鉄港」PRページの公開 [振興局]

概要：ANA SKY WEB内に、炭鉄港の魅力を発信する専用ページ『日本遺産 炭鉄港 “つながる”ストーリー 近代北海道の原点を発見～歴史と炭鉄港めしをめぐる旅へ～』を公開。(R5.12月～)



### ■ 日本遺産「炭鉄港」構成文化財に係る看板の設置 [炭鉄港推進協議会]

概要：各文化財の歴史等をわかりやすく説明した、案内板（共通サイン）を製作。  
 「共通サイン」は設置場所に合わせて、自立する「バス停型」もしくは壁などに架ける「プレート型」のどちらかを設置。(R6.4月～)



▲プレート型

◀バス停型

### ■ 炭鉄港関連施設のかつての姿を復元するARコンテンツの制作 [炭鉄港推進協議会]

概要：炭鉄港の施設をスマートフォンを通して、擬似的に復元した状態を表示するAR復元スポット（北炭赤間炭鉱選工場、北炭ローダー、いぶり丸）を設置。(R6.2月～) 日本語や英語による施設の解説音声の再生、復元した画像の保存が可能。



(現地)

(AR)

評価指標 (KPI)

基準値(基準年)

実績値(実績年)

目標値(目標年)

進捗率

炭鉄港推進協議会構成市町の観光入込客数

7,250千人(R2)

16,215千人(R5)

7,468千人(R7)

217.1%

## R7年度の主な取組

- ガイド等団体合同説明会及びインタープリター※養成事業 [炭鉄港推進協議会]
- 学生向け炭鉄港インターンシップの実施 [炭鉄港推進協議会]
- 新たな層に向けた誘客イベント等の実施 [炭鉄港推進協議会]

※インタープリター…「インタープリテーション」を実施する人。炭鉄港に当てはめると、例えば、構成文化財の完成年月や仕組みの説明に留まらず、歴史や文化など地域のストーリーを総合的に関連付けて解説できるような人を指す。

# アイヌ文化等の地域資源を活かした日高地域活性化プロジェクト

## 目的

ウポポイの開設により、国内外からの観光客の増加が見込まれることから、胆振・日高地域が連携し、ウポポイの開設効果を最大限に活かしていく。

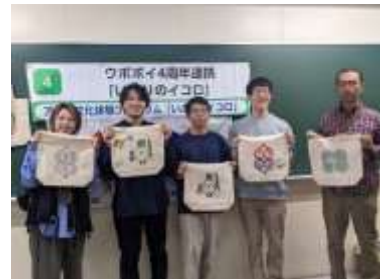
## これまでの主な取組・成果

### ■ ウポポイ及びアイヌ文化施設への周遊キャンペーンの実施 [振興局・市町・観光協会等]



- ▲ 期間：令和6年7月1日～9月30日
- ▲ 場所：胆振総合振興局管内
- ▲ 概要：胆振総合振興局において、ウポポイ4周年を記念しフォトラリーイベントを開催。胆振管内のアイヌ関連施設（ウポポイ含む）にて、施設の写真やイベント体験の写真を撮影し応募すると、抽選で景品が当たる。参加者には、ぬいぐるみやトートバッグ、クリアファイルなど、アイヌ関連のグッズがプレゼントされた。

### ■ イベントでのアイヌ文様を描くエコバッグづくり等、アイヌ文化体験を実施 [振興局]



- ◀ 期間：令和6年9月22日
- ◀ 場所：室蘭工業大学内
- ◀ 概要：第64回室蘭工業大学大学祭において、「みっとでアイヌ文化体験♪」に出展。エコバッグにアイヌ文様を描くワークショップを実施した。学生スタッフ・先生と共に実施したワークショップには80名ほどの参加があった。

### ■ 「ひだか産品」の消費拡大を図るため、札幌圏のホテルでグルメフェアを開催 [振興局]



- ◀ 期間：令和6年11月1日～11月30日
- ◀ 場所：ホテルライフオート札幌
- ◀ 概要：日高振興局は、日高産品の知名度向上・消費拡大を目指し、ホテルライフオート札幌と連携して「日高味覚フェア」を開催。ひだか産品を使った特別メニューが提供された。

## 評価指標 (KPI)

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
胆振・日高地域への観光入込客数	1,040万人 (R2)	1,806万人 (R5)	1,994万人 (R7)	90.6%

## R7年度の主な取組

- ウポポイを含むいぶり五大遺産関連施設を周遊するスタンプラリーを実施 [振興局]
- アジア上質インバウンド誘客促進のための現地旅行博（シンガポール）への出店及び現地旅行会社・メディア等への売込 [振興局]
- 日高アイヌ文化シンボルマークの作成や、道内イベント等での日高アイヌ文化の魅力発信PR [振興局]

# 道内ジオパークの連携による地域力向上プロジェクト

## 目的

道内ジオパーク間のネットワークの発展に向け、ジオパークの魅力や学術的価値の積極的な発信、環境教育や防災教育の充実を図るとともに、観光振興や地域振興に繋がる取組を推進する。

## これまでの主な取組・成果

### ■ アウトドアパンフレットの作成 [振興局]



◀ 概要：胆振地域のアウトドアアクティビティーの更なる活用を図るため、胆振管内のキャンプ場と特産品や周辺観光スポットを掲載したパンフレットを作成した。

### ■ 北海道いぶり五大遺産ポータルサイトを活用した情報発信 [振興局]



◀ 概要：胆振総合振興局では、「洞爺湖有珠山ジオパーク」「アイヌ文化」「縄文遺跡群」「むかわ竜」「炭鉄港」の5つを【いぶり五大遺産】として、その価値や魅力を発信するポータルサイトを運営し、五大遺産を切り口とした地域資源の情報発信を実施。

### ■ 国立公園化記念シンポジウムの開催 [振興局]



◀ 期間：令和6年10月12日  
 場所：浦河町総合文化会館ミニシアター  
 概要：日高山脈襟裳十勝国立公園の指定を記念し、シンポジウムを開催。浦河高校生徒によるオープニングトークに始まり、北海道運輸局からの基調講演や、「日高山脈襟裳十勝国立公園の比類なき価値を守るために」の題材でパネルディスカッションが実施された。

### ■ ジオパークにおける道路情報板を活用した案内表示 [国]

### ■ ジオパークガイド養成講座の実施 [振興局]

### ■ 北海道ジオパークネットワーク連絡会議への参加 [振興局]

評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
ジオパーク構成市町への観光入込客数	1,017万人 (R2)	1,941万人 (R5)	2,130万人 (R7)	91.1%

## R7年度の主な取組

- 五大遺産紹介動画の作成 [振興局]
- NEXCOとの連携による「北海道ハイウェイ Show Area 2025 噴火湾パノラマパーク」の実施 [振興局]
- 第15回日本ジオパーク全国大会in十勝岳の開催 [振興局、市町]

# 縄文遺跡群を活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト

【推進エリア】道南連携地域（渡島地域、檜山地域）【連携地域を越えて取組を推進するエリア】石狩地域、胆振地域

## 目的

先人から受け継いだ貴重な財産への理解を深め、郷土の誇りと愛着を再認識することで、次世代へ継承していくとともに、この魅力ある地域資源を活用し、観光など地域産業の活性化に繋げていく。

## これまでの主な取組・成果

### ●縄文文化の魅力発信と次世代への継承の推進

#### ■縄文プロモーションの実施 [縄文道民会議、市、振興局]

##### ・「JOMON FESTIVAL 2024 縄文雪まつり」の開催

開催日：令和6年2月3日、4日

場所：チ・カ・ホ北3条交差点広場西

概要：世界文化遺産である縄文遺跡群を活用し、石狩、胆振、渡島各地区の周遊を促進するため、それぞれの遺跡と合わせて、縄文クイズや、縄文グッズ、パンフレットの配布等、管内の観光PRを実施。



#### ■縄文文化に関する情報の発信 [振興局]

##### ・「北の縄文パネル展」の開催

場所：函館市地域交流まちづくりセンター 他

概要：縄文遺跡群や縄文文化を幅広く発信するためパネル展を開催。「JOMON CULTURE STYLE BOOK」、フォトコンテストの入賞作品の展示や、縄文に関するパンフレット等を配布。



### ●遺産を活用した誘客促進

#### ■縄文文化を活用した青函交流の促進 [青函圏交流・連携推進会議、振興局]

##### ・「青函圏フォーラム×JOMONフォーラム」の開催

開催日：令和6年3月14日

場所：プレミアムホテル - CABIN  
PRESIDENT - 函館

概要：縄文遺跡群の構成資産である大船遺跡・垣ノ島遺跡をはじめとする縄文文化の魅力や価値の向上並びに活用を図るとともに、青函圏域の交流・連携の促進を目的にフォーラムを開催。



#### ■モニュメントの設置 [ライオンズクラブ国際協会、市]

##### ・北黄金貝塚公園のモニュメント設置

場所：北黄金貝塚公園

概要：北黄金貝塚が世界遺産に登録されたことを記念し、北黄金貝塚から発掘されたホタテをモチーフにしたモニュメント『Nine Incentives H.』を設置。



評価指標 (KPI)

基準値(基準年)

実績値(実績年)

目標値(目標年)

進捗率

渡島管内への観光入込客数

688万人 (R2)

1,160万人 (R5)

1,371万人 (R6)

84.6%

## R7年度の主な取組

■公共施設等でのパネル展等の実施、縄文文化の普及啓発のためのイベントの開催 [振興局等]

■管内の遺跡や遺物等を紹介するカードの作成、イベント会場に縄文文化体験ブースの出展 [振興局]

# 未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト

【推進エリア】空知地域

**目的** 管内産業の持続的な発展に向けて、基幹産業である農業分野などで、「北海道Society5.0推進計画」に示されるICT等の先進技術の導入を積極的に進め、生産性向上や担い手の育成・確保を図るほか、空知産農産物のブランド化を推進していく。併せて、地域特性を活かした企業・研究機関等の誘致促進やものづくり産業人材の確保・定着を進めながら、さらなる産業の振興に取り組む。

## これまでの主な取組・成果

- ICTの活用に向けた実証実験などによるスマート農業の普及・促進 [振興局・市町]

開催日：令和5年11月15日  
場所：岩見沢市

概要：「中山間地におけるスマート農業への挑戦」をテーマに、基調講演やパネルディスカッションを実施。  
企業によるスマート農業の機材展示、拓殖大学北海道短期大学による水管理システムpaddy watchと、センサーごとのNDVI精度についてご紹介



▲ 空知スマート  
アグリシンポジウム2023

- 北海道四季マルシェにおける空知フェアの開催 [振興局・市町]

開催日：夏 令和5年 7月7日～13日  
秋 令和5年10月6日～19日

場所：札幌駅構内 北海道四季マルシェ  
概要：JR北海道フレッシュキヨスク（株）、（有）水戸青果の協力の下、付加価値向上と販路拡大に向け、夏（1市）と秋（10市町）に空知管内農産物等の販売



- 空知「食」と「ワイン」のブランド化強化事業 [振興局]

開催日：令和5年11月16日  
場所：岩見沢平安閣

概要：商品の販路拡大及び新商品開発・磨き上げを目的に、食品関連事業者（一次産業者を含む）と食の専門家・バイヤーとの個別相談会・商談会



▲ 食のブランド・  
ステップアップ相談会

- 空知製造業成長支援・産業集積促進事業 [振興局]

概要：空知管内への投資のための地域情報や取引拡大のための企業情報を取りまとめた「北海道そらちビジネスガイドブック」を作成(R5.10月)



評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
空知の耕作面積の維持	113,600ha (R2)	113,500ha (R5)	113,600ha (R7)	99.9%
新規高卒者管内企業就職率	60.9% (R2)	52.0% (R5)	63.9% (R6)	81.4%

## R7年度の主な取組

- 空知農業の持続的な発見に向けた「土づくり」「人づくり」 [振興局]
- 「食のガイドブック」の作成 [振興局]
- 空知GXプロジェクト視察会の開催 [振興局]

# 地域の歴史や資源を活かした空知の魅力発信プロジェクト

【推進エリア】空知地域

**目的** 空知地域は、日本遺産「炭鉄港」をはじめ、ワインや日本酒、花など空知ならではの地域資源を有し、近年では、美しい田園風景を活かしたサイクルツーリズムなども実施されている。こうした地域資源を引き続き活用して、魅力の積極的な発信や食と観光の振興を図り、北海道ブランドの強化や国内外との人と物の流れの創出を推進する。

## これまでの主な取組・成果

- ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」及びSNSを活用した情報発信 [振興局・市町]



概要：「そらち・デ・ビュー」やSNSにより、空知の様々な情報や魅力を発信し、新たな空知ファンの獲得に向けたSNS上のキャンペーンを展開。  
ウェブサイトのPV数：約46万回（R5年度）

- そらち応援大使（鈴木貴之氏）やそらち食の応援アンバサダー（佐藤麻美氏）と連携し、空知の魅力を紹介するプロモーション [振興局・市町]

開催日：令和5年9月23日（土）

概要：そらち応援大使やそらち食の応援アンバサダーがMCとなり、YouTubeによるLIVE配信により、観光施設のレポートVTRや、スイーツ試食コーナー、クイズ等を交えて空知の魅力を紹介。

ライブ配信視聴数：1,782回、累計視聴数：5290回



- そらちエゾシカフェア2023 [振興局・市町]

開催日：令和5年11月1日～23日

場所：空知管内の飲食店24店舗

概要：エゾシカ肉料理特別メニューを提供するとともに、フェア参加店を巡るスタンプラリーを開催し、空知のエゾシカ肉の美味しさをPRするとともに誘客促進を図った



- ポータルサイト「そらち・de・キャンプ」を開設 [振興局]

概要：空知管内のキャンプ場の情報を掲載したポータルサイトを令和5年7月に開設。立ち寄りスポットも掲載するなど、管内へのマイクロツーリズムの一層の促進を図った。



評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
「そらち・デ・ビュー」公式SNSのフォロワー数	6,522人 (R2)	20,120人 (R5)	14,500人 (R7)	138.8%
管内への観光入込客数	1,232万人 (R1)	1,274.46万人 (R5)	1,278万人 (R6)	99.7%
移住相談件数	574件 (R2)	781件 (R5)	687件 (R7)	113.7%

## R7年度の主な取組

- 空知の地域資源を活用したPRイベントの実施 [北海道空知地域創生協議会]
- FAMトリップの開催 [振興局、市町]
- 体験住宅の整備・お試し暮らしの実施 [市町]

# 空知と多様な形で関わりを持つ人材創出プロジェクト

【推進エリア】空知地域

**目的** 道内の中でも、特に厳しい人口減少が続く空知地域において、将来にわたって住み続けられるよう、オール空知の連携を深めながら、地域医療や福祉の充実、生活交通の維持・確保をはじめとした安心で住み良い暮らしの形成や新規高卒者の地元就職などの雇用対策を進めるほか、管内自治体・民間企業と連携し、地域住民のシビックプライド醸成を図りながら次世代リーダーを育成するとともに、地域の「しごと」「住まい」「暮らし」に関する一体的な情報発信などによる移住・定住対策や、ワーケーションなど多様で柔軟な働き方の受入体制の確保など、関係人口の創出・拡大を図る。

## これまでの主な取組・成果

### ■ 地元就職応援フェア [振興局]

- 地元企業合同説明会  
開催日：令和5年6月20日  
場所：砂川市地域交流センターゆう  
概要：管内高校生と進路指導担当教諭を対象に、説明会を実施。地元企業のPR機会とし、職場定着と早期離職の防止を図った。



- 空知地域企業見学バスツアー  
開催日：令和5年11月28日・30日  
令和5年12月5日・7日  
場所：管内に事業所を有する各企業の就労現場等  
概要：仕事のミスマッチを防止するため、高校生、進路指導担当教諭を対象に実施。企業・業種に対する理解を深め、就職後の職場定着の促進を図った。



### ■ 関係人口の拡大に向けた情報発信

概要：ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」や振興局HPにおいて、空知への移住者への取材内容をまとめた「空知移住者インタビュー」記事を掲載。



### ■ ICTを活用した地域交通セミナーの開催 [振興局]

開催日：令和6年3月7日  
場所：岩見沢市内  
概要：空知管内の路線の維持・確保を図るため、ICTの活用に関する勉強会を開催。AIを活用したデマンド交通や行政・医療MaaSの導入事例を紹介。



評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
新規高卒者管内企業就職率 (再掲)	60.9% (R2)	52.0% (R5)	63.9% (R6)	81.4%
移住相談件数 (再掲)	574件 (R2)	781件 (R5)	687件 (R7)	113.7%
認定こども園設置数	20カ所 (R2)	20カ所 (R5)	22カ所 (R7)	90.9%

## R7年度の主な取組

- ウェブサイト「そらち・デ・ビュー」及びSNSを活用した情報発信 [北海道空知創生協議会]
- 地域交通の確保に係る講演会の開催 [振興局]
- 新規高卒者の地元就職促進のため、合同企業説明会などの実施 [振興局、市町]

# 石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト

## 目的

若者の道外への人口流出を抑制するため、教育機関や市町村、地元企業等との連携により、新規学卒者等の地元就職・地元定着の促進を図るとともに、新たな就農環境づくりや企業誘致などによる雇用の場の創出に取り組む。首都圏などの道外から人を呼び込むため、石狩地域で生活する魅力の発信や新たな生活様式に対応した働き方を推進しながら、関係人口の創出や拡大、移住・定住の促進に取り組む。

## これまでの主な取組・成果

### ●若者の地元定着・就業に向けた取組 [振興局、市町村、民間]



#### ■大学卒業生や若者をターゲットにした愛着醸成の取組 (振興局)

- ▶概要 要：学生の地域への理解促進や愛着醸成を図るため、大学や高校との連携により学生の地域活動を支援。
- ▶連携大学等：北海学園大学、公立千歳科学技術大学、文教大学（埼玉県）、当別高校



#### ■高校生等対象の市内企業訪問バスツアー (恵庭市)

- ▶開催日：令和5年8月1日、2日
- ▶開催場所：市内6企業
- ▶概要 要：高校生等が市内の複数企業をバスで訪問し、業務の内容や雰囲気を実際に知る事で、地元での就職を希望することに繋げる。また、企業における新規学卒者等、若年層の人材確保を図る。

### ●地域産業の活性化や企業誘致等による雇用の場の創出 [振興局、市町村、民間]



#### ■小麦追跡学習 (江別市)

- ▶開催日：令和5年7月4日、14日、10月16日、19日、23日、24日
- ▶場 所：市内生産者ほ場、都市と農村の交流センターえみくる
- ▶概要 要：実施希望の意向がある市内小学校に対し、小麦畑の見学・市内製粉製麺会社の出前授業・江別産小麦を使用したピザづくり体験を実施。

### ●道外からのU・I・Jターンの促進 [振興局、市町村、民間]



#### ■移住者専用のホームページの開設 (千歳市)

- ▶概要 要：千歳市への移住を考えている方に、千歳市はどんなまちなのかといった情報から、移住後の生活を想像できるようなリアルな情報まで幅広く掲載しているサイト。市内のスーパー、公共施設等、主要な施設の分布図「住まいのマップ」は仕事・住宅探しをするときに活用できる。

主な評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
新規大卒道内就職者の3年以内の離職率	36.4% (R1)	35.7% (R5)	前年度より改善	—
石狩地域の新規学卒・参入者の就農者数	16人 (R2)	12人(延べ34人) (R5)	延べ80人増 (R3~R7)	42.5%
若年層(15~29歳)の首都圏への転出超過数	3,352人 (H30)	3,242人 (R5)	3,139人 (R6)	96.8%

## R7年度の主な取組

- 管内小中学生の地域愛着及び誇りの醸成を促進するための出前授業・体験学習の実施 [市町村、振興局]
- 北海道どさんこプラザなどを利用した「いしかりフェア」による、地域産業の活性化 [市町村、民間、振興局]
- 首都圏等で開催される移住フェアに出展し、管内市町村の子育てや移住施策のPR [市町村、民間、振興局]

# 石狩観光スタイルと石狩の食の魅力ブランド化推進プロジェクト

## 目的

道内をはじめとした国内外の交流人口や関係人口の拡大を図るため、都市と自然とを十分に満喫することができる石狩地域の特性を活かし、地域や観光事業者等との連携により魅力ある観光情報やさらなる発展が期待される地域の魅力を発信しながら、観光客を石狩地域へ誘引する取組を進めるとともに、おもてなし環境の整備やワーケーションなどを取り入れた新たな観光メニュー開発や地域の食のブランドづくりを推進する。

## これまでの主な取組・成果

### ●石狩観光スタイルの推進に向けた魅力発信 [振興局、市町村、民間]

#### ■観光客を管内へ誘引するプラスワン観光の推進 (振興局)

▶概要：令和5年3月に開業した「北海道ボールパークFビレッジ」(北広島市)をはじめ、グリーンシーズンを代表する管内観光スポットを紹介するPR映像を制作し、イベントでの放映やInstagram広告を配信し、消費者へ広く周知した。  
また、道内外で開催した「いしかりフェア」などの各種プロモーション等の機会を活用し、管内の観光や食の魅力について積極的なPRを実施した。



#### ■天文台施設の整備 (新磯津村)

▶概要：大型望遠鏡を備えた「しんしのつ天文台」を整備。天文台は、格納庫全体がスライドする道内初の全国でも珍しいフルオープン式。設置する望遠鏡は道央圏最大級の「口径50cmカセグレン式反射望遠鏡」。この望遠鏡は、肉眼の約5100倍の集光力を持ち、遠い銀河や星雲・星団もしっかりと観ることができる。天文台には75インチの液晶モニターも完備し、CMOSカメラによる電子観望も可能。



### ●様々な観光客に向けたおもてなし環境の整備・充実 [振興局、市町村、民間]

#### ■宿泊施設に対する外国人等の多様な観光客の受入れ環境整備に係る経費の補助の実施 (札幌市)

▶概要：市内宿泊施設が実施する外国人等の多様な観光客の受入れ環境整備(多言語対応、SDGsへの取組、緊急時対応、多様な文化等への対応)に係る経費に補助金を交付。  
▶実績：22件(令和5年度補助実績)



### ●新たな観光メニューの開発や地域の食のブランド化の推進と魅力発掘 [市町村、民間、振興局]

#### ■赤毛米を題材としたバスツアーの開催 (北広島市)

▶開催日：令和5年9月3日  
▶場所：旧島松駅通所、タカシマファーム 外  
▶概要：7組19名が、旧島松駅通所において中山久蔵や赤毛米の歴史の学習や、現在も赤毛米を栽培しているタカシマファームの見学をしたほか赤毛米粉をつかったクレープづくりに挑戦した。



主な評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
観光入込客数	1,336万人 (R2)	2,861万人 (R5)	3,100万人 (R7)	92.3%
農商工連携・6次産業化支援データベースの新規登録件数	12件 (R2)	5件 (R5) (累計32件)	累計38件以上 (R6)	84.2%
石狩の食の商品開発及び販路拡大等の相談機会の確保 (相談件数)	28件 (R4)	16件 (R5) (累計44件)	累計60件以上 (R6)	73.3%

## R7年度の主な取組

- 国内外での積極的なプロモーション活動やSNSの活用などにより観光客を札幌周辺地域へ誘引するプラスワン観光の推進 [振興局]
- 観光事業者との連携による、自然、文化、スポーツ、食を楽しむ体験型観光コンテンツの発掘及び観光情報の発信 [市町村、民間、振興局]
- 観光関係者が意見交換等を行い、施策の展開につなげる「石狩振興局 地域観光戦略プラットフォーム会議」の開催 [市町村、民間、振興局]

# 安心して子どもを生き育てられる“いしかり”環境づくり促進プロジェクト

## 目的

少子化などによる地域活力の低下に歯止めをかけるため、都市地域の特性や課題を踏まえながら、市町村等と連携し、地域で出産・子育てを支え見守る取組の充実を図るとともに、子育てをしながら働き続けられるよう、企業に対して誰もが働きやすい職場環境づくりに向けた取組を実施する。

## これまでの主な取組・成果

### ● 出産・子育てを地域で支える環境づくり [市町村、民間、振興局]



#### ■ 地域子育て支援拠点職員セミナーの開催 (振興局)

- ▶開催日：令和6年2月1日
- ▶場 所：北海道立道民活動センターかでの2・7
- ▶参加者：15名（拠点職員及び行政職員）
- ▶内 容：子育て支援を行っているNPO法人の代表理事やWEBライターを講師に招き、現代の子育ての実情やSNSを活用した情報発信に関する講演を行ったほか、拠点の取組や課題等の共有を目的としたグループワークを実施。



#### ■ 転入親子ウェルカム交流ツアーの実施 (千歳市)

- ▶開催日：令和5年7月3日
- ▶場 所：げんきっこセンター、新千歳空港（ドラえもんわくわくスカイパーク・ロイズチョコレートワールド）
- ▶概 要：転入して間もない親子を対象としたバスツアーを開催し、市内の子育て関連施設の見学及び子育て支援センターを活用した親子交流の機会を提供した。

### ● 働き方改革やワーク・ライフ・バランス実現に向けた企業の意識醸成 [市町村、民間、振興局]



#### ■ 札幌市ワーク・ライフ・バランスplus

##### 企業認証制度の実施 (札幌市)

- ▶概 要：働きやすい職場環境の整備を目指し、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍を推進するための取組を行う企業を認証している。
- ▶実 績：認証企業数1,001社（令和5年度末時点）



#### ■ 企業向けに専門家を招いたセミナーの実施 (江別市)

- ▶概 要：市で設置している就労支援施設「江別まちなか仕事プラザ」にて講師を招き、職場定着や早期離職防止に係るセミナーを実施した。
- ▶実 績：令和5年度 開催回数2回
  - ・令和5年9月5日 13時～15時  
参加社数 5社
  - ・令和5年11月7日 13時30分～15時30分  
参加社数 3社

主な評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
地域子育て支援拠点数	36拠点 (R2)	38拠点 (R5)	38拠点 (R6)	100.0%
北海道働き方改革推進企業認定制度の認定企業数	109企業 (R2)	153企業 (R5)	204企業 (R7)	75.0%

## R7年度の主な取組

- 高校生、大学生を対象とした少子化に関する出前講座の実施 [市町村、民間、振興局]
- 保育所、認定こども園、小規模保育所整備に対する補助の実施 [市町村、振興局]
- 就業環境支援に関する優待制度や相談窓口などの情報を発信 [市町村、民間、振興局]

# 自然環境と調和した誰もが安心して暮らせる“いしかり”まちづくりプロジェクト

## 目的

地域の住民一人一人が安心して暮らし続けることができるよう、環境や生態系の保全、脱炭素（ゼロカーボン）の取組促進、不法投棄防止対策などにより豊かな自然環境を守り育てるとともに、地域コミュニティ機能の維持・発揮に向けた取組や感染症対策を踏まえた防災対策の推進など、誰にとっても住みやすく災害に強いまちづくりに取り組む。

## これまでの主な取組・成果

### ●豊かな自然環境を守り育てる取組の推進 [振興局、市町村、民間]



#### ■環境普及啓発事業

##### 「FEELD GOOD FES」出展 (石狩市)

- ▶開催日：令和5年6月17日、18日
- ▶場 所：石狩湾新港地域特設会場
- ▶概 要：環境と親和性の高い本イベントに出展し、環境問題に対する自発的な行動変容やライフスタイルの選択を促した。  
(アンケート回収数：266人)  
包括連携協定締結事業者の運営協力有。



#### ■コミュニティバスにおけるバイオディーゼル燃料の活用 (当別町)

- ▶概 要：「当別ふれあいバス」では、地域住民や飲食店等から使用済みのてんぷら油を回収し、BDF（バイオ・ディーゼル・フューエル）を精製・製造し、バスの燃料として使用している。BDF燃料の精製では、運行事業者である下段モータースが使用済みてんぷら油を「回収」、「精製」、そして「バスでの使用」を一気通貫で行うことにより、製造コストの圧縮や製造過程でのCO<sub>2</sub>排出削減に繋がっている。

### ●誰もが安心して暮らせる社会の形成 [振興局、市町村、民間]

#### ■不法投棄監視パトロール (振興局、各市町村)

### ●防災対策の強化による安全なまちづくり [市町村、民間、振興局]

- 札幌管区气象台と「防災情報に関する担当者会議」の共催 (振興局)
- 防災に関する講座や講習会等の開催 (各市町村)

主な評価指標 (KPI)	基準値 (基準年)	実績値 (実績年)	目標値 (目標年)	進捗率
協働により実施する石狩地域での木育活動	12回 (R1)	18回 (R5)	22回 (R7)	81.8%
石狩地域のエゾシカ捕獲推進プラン目標数の達成	—	2,689/2,700 (R5)	毎年度設定	99.6%
石狩地域の自主防災組織 活動カバー率	61.6% (R2) (全国平均値 84.3%)	88.1% (R5) (全国平均値 85.4%)	全国平均値	103.2%
石狩地域のクリーンパートナー登録団体数	96団体 (R2)	115団体 (R5)	150団体 (R7)	76.7%

## R7年度の主な取組

- 有害鳥獣捕獲業務やヒグマアクションプランに基づく対策の推進 [市町村、民間、振興局等]
- 脱炭素（ゼロカーボン）の取組への関心と理解を深めることを目的とした出前講座などの普及活動を実施 [市町村、民間、振興局]
- 関係機関との情報共有会議等の場を通して、市町村並びに防災関係機関との連携強化を推進 [市町村、民間、振興局]

# 農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト

## 目的

担い手の確保や収益性の向上に向けた取組を推進し、農林水産業の持続的発展を図るとともに、豊富で良質な1次産品を活用した商品開発や情報発信などにより、高付加価値化やブランド化を促進する。

## これまでの主な取組・成果

### ■ ShiriBeshi商談会の開催【振興局】

概要：後志管内の1次産品や加工品をホテルやレストランへ売り込む商談会を開催

日時：令和6年9月18日

場所：ホテル第一会館 1階 プラザホール

参加者：出展者23団体

来場者：21社 45名 しりべしワインセミナー同時開催



ShiriBeshi商談会の様子

### ■ シャインマスカットの長期貯蔵技術の確立等、技術支援を実施【関係機関、振興局】

概要：シャインマスカットの生育ステージに応じた巡回指導、現地研修会、長期貯蔵技術の検証等の技術支援により出荷量が増加したほか、商談会・相談会への参加とPR活動を実施しブランド化を図り、本州産と比較して高値取引を実現

### ■ 「ようていカラマツ」としてのブランド化の推進（民間施設における地域材利用推進の取組）【振興局】

概要：後志産木材を利用した建築用材の地材地消の促進を図るため、地域材建築部材・木製品カタログやパンフレットを活用し、大手ゼネコンやリゾート関係会社に対し、ようていカラマツの利用促進に向けた働きかけを実施

相手方：(株)竹中工務店、(株)ドーコン、(株)日建設計、(株)久米設計

### ■ 「北海道の漁協フェア」を開催【民間、本庁、振興局】

概要：管内水産物の消費を拡大させるため、漁協等が扱う水産加工品の販促PRを実施。

日時：令和6年2月21～27日

場所：北海道どさんこプラザ札幌店

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
新品種農産物(シャインマスカット)出荷量	2,520kg (R2)	9,503kg (R5)	6,000kg (R6)	158.4%
新規就農者数	34人 (R1)	25人 (R5)	34人 (R7)	73.5%
管内製材・木材チップ工場における原木消費量	69,000m <sup>3</sup> (R2)	56,785m <sup>3</sup> (R5)	77,000m <sup>3</sup> (R7)	73.7%
新規漁業就業者数	7人 (R2)	10人 (R5)	9人 (R7)	111.1%

## R7年度の主な取組

■ポータルサイトによる情報発信、ワイン関連生産者向けセミナー、ShiriBeshi商談会、出前相談会等により食の生産者を支援【振興局】

■後志産木材を利用した建築用材の地材地消の促進を図るため、大手ゼネコンなどの有識者を講師に招き、「しりべし・くつろ木の会」の会員に対し、勉強会を開催【市町村、民間、振興局】

■高付加価値化活動の強化として、マーケティング講座の開催や新規就農者の支援体制強化のため意見交換会・研修会等を開催【民間、振興局】

■資源が激減しているコウナゴについて、操業の効率化や適切な漁獲時期設定の一助とすることを目的に漁期前調査を実施。調査報告会を開催して、漁場におけるコウナゴ資源の状況や魚体サイズなど、操業にあたって参考となる漁期前情報を関係者に提供【民間、振興局】

# 国際観光リゾートエリアとしての持続可能な観光地づくりと広域観光展開プロジェクト

## 目的

国内客の呼び込みの拡大やポストコロナの観光需要回復を見据えたインバウンド受入体制の整備を推進するとともに、アドベンチャー・トラベル等の新たな観光資源の発掘・磨き上げや、地域内で作られる豊かな食資源を活かしたガストロノミー・ツーリズム等による広域観光や滞在・通年型観光の推進に取り組み、観光客が安心して楽しむことができる持続可能な観光地を目指す。

## これまでの主な取組・成果

### ■ ワイン関係者による連携会議、酒と食をテーマとした地域振興セミナーの開催 [振興局・後志観光連盟]

概要：後志のワイン関係者による情報交換や、酒と食に関する情報や広域観光情報共有のためのセミナーを開催

・日時：令和7年1月30日 ・場所：ホテル水明閣 ・参加者：31名

### ■ ATコンテンツ発掘相談会及び有識者招聘による磨き上げ [振興局]

概要：後志管内自治体、観光協会から情報提供があったコンテンツについてアドベンチャー・トラベル取扱旅行業者より

アドバイスを受けるほか、こうしたコンテンツの商品化に向け専門家による現地視察・相談会を実施

・日時・場所：令和6年7月16日～17日（岩内町、泊村、共和町、蘭越町、黒松内町）

令和7年2月26日～27日（黒松内町、蘭越町、ニセコ町、倶知安町）

ATコンテンツ発掘相談会



### ■ 北海道教育旅行説明会・商談会への参加 [振興局・後志観光連盟・北海道観光機構]

概要：教育旅行の誘致に向け、東北・関東・関西圏の学校、旅行会社に対して後志地域のPRやモデルルートの説明を行うとともに、教育旅行の意向等についてのヒアリングを実施

・日時・場所：令和6年8月22日（宇都宮市） 令和6年8月23日（山形市）

令和6年12月17日（大阪市） 令和6年12月18日（東京都）

・後志管内参加者：小樽観光協会 ニセコリゾート観光協会 黒松内町観光協会 黒松内町

ルスツリゾートホテル&コンベンション ヒルトンニセコビレッジ オルゴール堂ホールディングス

評価指標 (KPI)

基準値(基準年)

実績値(実績年)

目標値(目標年)

進捗率

観光入込客数

2,142万人 (R1)

2,290万人 (R5)

2,500万人 (R7)

91.6%

## R7年度の主な取組

■ ATコンテンツ発掘相談会や、旅行会社等の専門家を講師としたATコンテンツの商品造成支援・磨き上げ [振興局]

■ 雑誌への記事掲載や振興局サイトによる体験型観光の情報発信 [民間、振興局]

■ 観光実態調査結果を踏まえた観光地域づくり法人(DMO)との連携による広域観光の推進 [民間、振興局]

# ShiriBeshi多文化共生の「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト

## 目的

冬季間の短期滞在者の通年雇用化による産業の担い手確保や、道内外や国外からの移住・定住の促進のため、関係機関が連携して就業支援や人材育成への支援を行う。

また、地域における観光ビジネスや世界を相手に活躍できる人材育成に取り組むとともに、関係人口の創出・拡大や、増加する外国人住民とともに地域づくりを進めることで、多文化共生社会の実現に向けた取組を推進する。

## これまでの主な取組・成果

### ■ ShiriBeshiグローバルインターンシップの実施 [町、民間、振興局]

概要：道内外の大学生等が、リゾート関連企業等でのインターンシップや、地域の方々との交流を通じて学ぶ人材育成プログラム。サマープログラムとウインタープログラムを開催。

- ・ 期間：サマープログラム 令和5年8月3日～9月1日  
：ウインタープログラム 令和6年2月1日～3月5日
- ・ 場所：ニセコ町、倶知安町、岩内町
- ・ 参加者：計73名



ウインタープログラム参加者

### ■ 若者向け合同企業説明会の開催 [振興局]

概要：後志教育局などの関係機関と連携し、管内の高校生を対象として、将来ビジョンを描くためのキャリア教育を実施

また、職業選択の視野を広げる一助として、地元企業の概要や仕事の内容を周知することで、地元での就業促進を図るとともに、勤労観などを形成することで就職後の早期離職の抑制を図ることを目的として開催

- ・ 日時：令和6年7月16日、11月14日
- ・ 参加者数：高校生170名、参加企業29社

主な評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
管内就職件数 (ハローワーク)	2,694件 (R1)	2,216件 (R5)	2,694件 (R7)	82.3%
管内外国人住民数	3,447人 (R2)	6,328人 (R5)	5,200人 (R7)	121.7%

## R7年度の主な取組

- 高校生向け企業見学会の開催、北海道移住・交流フェアでのPR [振興局]
- しりべし「まち・ひと・しごと」マッチング協議会の運営、しりべしジョブフェアの開催 [市町村、民間、振興局]
- 「ShiriBeshiグローバルインターンシップ」の実施 [市町村、民間、振興局]

# 脱炭素社会を創造する「いぶり」産業展開プロジェクト

## 目的

脱炭素型社会に向けた取組を積極的に進めている胆振地域が、「ゼロカーボン北海道」の実現に向け、本道の脱炭素化をリードするとともに、産業の持続的な発展に取り組む。

## これまでの主な取組・成果

### ■ものづくり企業の人材確保支援 [振興局]



◀ 期 間：令和6年4月8日～  
 概 要：胆振地域の特色であるものづくり産業への就職促進策として高校生等を対象に、管内のものづくり企業の会社紹介・採用情報などを掲載したデジタルガイドブックを作成・公開。公開後も追加掲載希望の要請があるほか、各種メディアに取り上げられ新しい地元への就職PRを創造した。

### ■「ゼロカーボンカレッジ」の開催 [振興局・市町]



◀ 概 要：TEAM「ゼロカーボンいぶり」では、胆振管内・管外のパートナーと連携・協力のもと、ゼロカーボン北海道の実現に必要な人材育成を目的とした「ゼロカーボンカレッジ」を展開している。令和6年度は、苫小牧工業高校にて振興局職員及び市職員によるゼロカーボンについての講義行ったあと、トヨタ自動車北海道株式会社にて「トヨタのゼロカーボンの取り組み」を聞き、工場視察を行った。

### ■各種補助金等を活用した脱炭素エネルギー設備の設置促進 [国、市町、民間、振興局]

### ■企業誘致のための産官学金連携の促進 [市町]

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
道企業立地促進費補助金認定申請数	5件 (R2)	2件 (R5)	10件 (R7)	20.0%
製造業の付加価値生産性	1,438万円 (H30)	2,041万円 (R3)	1,805万円 (R7)	113.1%
従業員数4～29人の事業所における常用雇用者数	4,340人 (H30)	— (R3) ※統計の廃止により数値なし	4,800人 (R7)	—%
電気自動車、燃料電池車、天然ガス自動車、プラグインハイブリッド自動車の合計台数 (室蘭運輸支局管内)	601台 (R1)	911台 (R4)	1,500台 (R7)	60.7%
新エネルギー導入量 (発電設備量)	86.7万kw (R2)	108.6万kw (R5)	122.2万kw (R7)	88.9%
間伐の実施面積	6,590ha (H27～R1累計)	3,464ha (R3～R5累計)	9,100ha (R3～R7累計)	38.1%

## R7年度の主な取組

- ものづくり企業の新規顧客開拓の活動を促進 [振興局]
- 工業地域での太陽光発電設備の設置促進や再生可能エネルギーの適正導入マップ整備事業の実施 [市町]
- 小学生を対象とした環境学習を実施 [市町]

# 住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクト

## 目的

関係人口の創出・拡大に取り組むとともに、新鮮・多彩な食材の魅力発信や販路拡大の取り組みや地域の未来を支える人材の確保・育成や胆振東部地震からの着実な復旧と未来へつなぐ復興を進め、住みたい・訪れたい地域づくりの促進を図る。

## これまでの主な取組・成果

### ■北海道どさんこプラザ札幌でのいぶりフェア開催 [振興局]



◀ 開催：令和7年2月5日～11日  
 場所：北海道どさんこプラザ札幌店  
 概要：胆振管内の特産品のPR及び販売拡大を図るため、物産・観光PRイベントを実施。

<対応者の感想>

- ・対面販売で札幌圏の購入層に対してどのようなニーズがあるのかしれて良かった。
- ・インバウンドの来場者も多く、胆振フェアを通じて知っていただくことが出来た。

### ■「胆振ものづくり産業取引促進商談会」の開催 [振興局]



◀ 開催：令和7年2月13日  
 場所：室蘭市  
 概要：胆振地域等のものづくり企業が、航空宇宙や半導体関連産業など、新分野の取引を始めるきっかけとして道内外の発注企業と商談会を実施。  
 (発注企業 21社、受注企業 47社 参加者140人以上)

### ■「いぶりお魚クッキングスクール」の開催 [振興局]

### ■一次産業従事者確保のため広報活動の実施 [市町・振興局]

### ■新しい防災拠点となり得るコミュニティ施設の改修 [市町]

評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
管内への観光入込客数	1,618万人 (R1)	1,642万人 (R5)	1,794万人 (R7)	91.5%
地域おこし協力隊の隊員数	53名 (R2)	111名 (R5)	59名 (R7)	188.1%
食品工業の付加価値額	268億円 (H30)	454億円 (R3)	287億円 (R7)	158.2%
新規就農者	98人 (H28～R2累計)	56人 (R3～R5累計)	121人 (R3～R7累計)	47.9%
新規漁業就業者	103人 (H28～R2累計)	14人 (R3～R5累計)	113人 (R3～R7累計)	12.4%
新規林業参入者数	34人 (H27, H29, H31累計)	21人 (R3, R5累計)	35人 (R3, R5, R7累計)	60.0%
新規高卒者の管内就職内定率	71.8% (R2)	69.1% (R5)	73.0% (R7)	94.7%

## R7年度の主な取組

- 外国人材受入促進セミナー&パネルディスカッションの開催 [振興局]
- 首都圏のレストランと連携したメニュー開発の実施 [振興局]
- 各種学校や地域おこし協力隊を活用した地元人材確保の取組 [市町]

# 「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大プロジェクト

## 目的

日高地域では、全国の約8割を占める軽種馬生産に加え、全道一の生産を誇るトマトやピーマンのほか、イチゴ、肉用牛、昆布、鮭（銀聖）、ウニ、マツカワなど様々な農水産物が生産されており、このような恵まれた農林水産物の生産振興対策を図るとともに、「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大に取り組む。

## これまでの主な取組・成果

### ■農林水産物の生産振興対策の推進

#### ○肉牛農家における肥育牛舎の整備

【振興局、町、民間】

経営規模拡大及び省力化を図る肉牛農家に対して、肥育牛舎の整備や自動給餌機の導入などを支援した。

【実績】肥育牛舎1棟、自動給餌機（R5）



### ■強い馬づくりに向けた軽種馬生産

#### ○獣医学生インターンシップ

【振興局、町、民間】

軽種馬産業に係る獣医師を確保するため、管内の軽種馬獣医療関係者と連携し、獣医学生のインターンシップ受入れを実施した。

【実績】4泊5日で2名を受入れ（R5）



### ■「ひだか」製品の知名度向上と販路拡大

#### ○日高の豊かな海の幸フェス【振興局、町、民間】

不漁や赤潮被害などで打撃を受けた管内漁業者や漁協を応援し地域を盛り上げるため、三笠高校レストランでの「日高の海の幸ランチフェア」や、お正月に食べたい「Hidakaお魚御膳」のWeb人気投票「HiFA 2023」を実施した。

【実績】ランチフェア：245食完売 HiFA：応募総数284件（R5）



#### ○ひだかフェア in どさんこプラザ札幌店の実施【振興局、町、民間】

イチゴや肉用牛、昆布やサケなどの農水産物やそれらを活用した加工品をはじめとした「ひだか」製品の魅力を道内外に向けてPRし、消費拡大と地域のブランド力向上を図るため、「ひだかフェア in どさんこプラザ札幌店」を実施した。

【実績】参加事業者数：27 売上額：1,728千円（R5）



評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
ウニの単価向上	8,600円/kg (R1)	6,394円/kg (R5)	14,100円/kg (R7)	45.3%
軽種馬生産規模の維持	5,873頭/年 (R1)	6,239頭/年 (R5)	5,900頭/年 (R7)	105.7%

## R7年度の主な取組

■軽種馬産業に係る獣医師確保に向けた獣医学生のインターンシップ受入、管内受入情報の収集・発信【振興局、町、民間】

■管内水産物の消費拡大を図るため、「日高の豊かな海の幸フェス」として参加型イベント等によるPRを実施【振興局、町、民間】

■「ひだか」製品の販路拡大を図るため、食の専門家が生産現場を訪問し、事業者への助言を行う機会を創出【振興局、町、民間】

# 「ひだか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト

## 目的

各産業における人材を確保するため、教育機関と連携し将来の人材育成を進めるとともに、移住・定住の促進に向けた住環境の整備により転出の抑制や転入の増加を図り、持続可能な産業振興を目指す。

## これまでの主な取組・成果

### ■一次産業をはじめとする各産業の担い手等の育成・確保

#### ○北海道指導農業士・農業士会研修会

【振興局、町、民間】

指導農業士・農業士を対象に、担い手の受入や指導体制の構築を目的とした研修会を開催した。

【実績】参加人数：22名（R5.11）、32名（R6.1）



#### ○ナナイロひだかサポーター制度【振興局、町、民間】

人手不足の解消に向け、日高振興局職員が地域の一次産業事業者の下で副業活動を行った。

【実績】副業に従事した職員数：36名（R5）



### ■移住・定住の促進に向けた住環境などの整備

#### ○北海道mini移住交流フェア2023（in 横浜/大宮）【振興局】

移住交流イベントに出展し、来場者に対して日高地域での生活や住宅などに関する様々な情報を提供した。

【実績】来場者数：in 横浜 11組18人

in 大宮 6組8人（R5.12）



### ■教育機関と連携・協働した人材の育成

#### ○ナナイロひだか高校生応援プロジェクト【振興局、高校、教育局、民間】

管内の高校生が地域の政策を自らで考える勉強会を開催し、進学後も日高で活躍できる未来の地域人材を育成する取組を行った。

【実績】全4回のワークショップを開催（R5）

参加者：静内高校生8名、振興局・教育局職員4名  
地域おこし協力隊2名 計14名



#### ○地域を知る視察【振興局、町、民間】

静内農業高校の生徒を対象に、地域を牽引する人材の育成を目的として、地域資源を知る取組を実施した。

【実績】1年生63名が参加（R5）



#### ○北海道日高地元しごと魅力発見BOOK Vol.2【振興局、民間】

管内の高校生などに地元の産業や仕事を紹介するため、地元で就職した若手社員のインタビュー記事等を掲載したパンフレットを作成した。

【実績】管内7高校に400部配布（R5）

主な評価指標（KPI）	基準値（基準年）	実績値（実績年）	目標値（目標年）	進捗率
新規就業者数（農業）	14人（R1）	15人（R5）	25人（R7）	60.0%
新規就業者数（漁業）	11人（R2）	10人（R5）	14人（R7）	71.4%

## R7年度の主な取組

- 管内高校と連携して人材の育成・環流を目指す「ナナイロひだか高校生応援プロジェクト」の展開【振興局、町、民間】
- 管内の中高校生に向けて地元産業等を紹介する冊子の作成、地元企業の若手社員等との座談会の開催【振興局、民間】
- 職員の副業など一次産業の働き手確保を目指したナナイロひだかサポーター制度の運営【振興局、民間】

# 「ひだか」の魅力発信と観光の振興プロジェクト

## 目的

日高地域は、軽種馬生産による広大な牧場風景に加え、ユネスコ世界ジオパークのアポイ岳や、日高山脈襟裳十勝国立公園、日高山脈から襟裳岬に連なる変化に富んだ海岸線が一体となった独特な景観が見られるなど、豊かな自然環境を有している。また、アイヌ文化が継承され、多様な食材の宝庫となっている。

これらの優れた地域資源を最大限活用し、民間事業者等とも連携しながら、「ひだか」ならではの魅力発信、広域観光の展開などにより、地域の活性化を図る。

## これまでの主な取組・成果

### ■札幌・胆振・十勝圏域などからの誘客を図る広域観光の推進

#### ○日高管内の魅力発信を行う物産展を開催 [振興局、町、民間]

道央圏の方々にひだかの魅力を発信するため、札幌駅前地下歩行空間で、管内の特産品の販売や産業・アイヌ文化体験、観光PR、ふるさと納税の紹介などを行う観光物産展を2日間開催した。

【実績】来場者数：約9,220人 (R5.11)

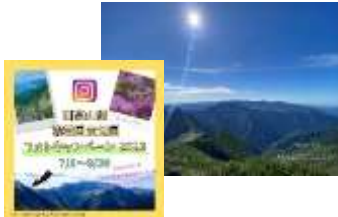


### ■国内外に向けた「ひだか」の魅力の発信

#### ○日高山脈襟裳国立公園フォトキャンペーン [振興局]

国立公園化に向け、日高山脈襟裳国立公園を題材とした写真をInstagram上で募集し、優秀な投稿作品をポストカード化するキャンペーンを実施した。

【実績】投稿総件数：424件 (R5.7~9)



### ■豊かな自然や食などの観光資源の開発・発掘

#### ○日高山脈襟裳国立公園 魅力発信アドベンチャー [振興局、町、民間]

国立公園化を控えた日高山脈襟裳国立公園の魅力を発信するため、日高管内において、豊かな自然や文化に触れるアクティビティ体験会を実施した。

【実績】全5回の体験会を実施 (R5.10~11)

- ・二つの滝へのハイキング (日高町)
- ・秋の桜ボランティアと龍雲閣の見学会 (新ひだか町)
- ・平取ダム散策とアイヌ文化 (平取町)
- ・ディマシオ美術館芸術見学 (新冠町)
- ・浦河ダム監査廊ウォーキング (浦河町)



主な評価指標 (KPI)	基準値(基準年)	実績値(実績年)	目標値(目標年)	進捗率
宿泊客延数	230千人(R1)	190千人(R5)	266千人(R7)	71.4%

## R7年度の主な取組

■空き家等を活用した宿泊業への参入を支援するため、事業者向けのセミナーや伴走支援を実施 [振興局、町、民間]

■指定1周年記念シンポジウムや小学生向け環境教育の促進などを通じた国立公園の魅力向上・発信 [振興局、町、民間]

■日高自動車道新冠IC(仮称)開通記念プロモーションの実施、日高管内の魅力発信を行う物産展等の開催 [振興局、町、民間]

# 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
日本遺産「炭鉄港」 を活用した交流人口 拡大プロジェクト	炭鉄港推進協議会構成市町の観光入 込客数	7,250千人 (R2)	7,487千人	10,530千人	16,215千人			7,468千人 (R7)	217.1%
アイヌ文化等の地域 資源を活かした日胆 地域活性化プロジェ クト	胆振・日高地域への観光入込客数	1,040万人 (R2)	1,070万人	1,571万人	1,806万人			1,994万人 (R7)	90.6%
道内ジオパークの連 携による地域力向上 プロジェクト	ジオパーク構成市町への観光入込客 数	1,017万人 (R2)	979万人	1,610万人	1,941万人			2,130万人 (R7)	91.1%
縄文遺跡群を活用し た魅力発信と誘客促 進プロジェクト	観光入込客数（渡島地域）	688万人 (R2)	774万人	1,023万人	1,160万人			1,371万人 (R6)	84.6%
	観光入込客数（檜山地域）	105万人 (R2)	102万人	113万人	135万人			150万人 (R6)	90.0%
	観光入込客数（胆振地域）	931万人 (R2)	948万人	1,418万人	1,642万人			1,764万人 (R6)	93.1%
	観光入込客数（石狩地域）	1,336万人 (R2)	1,577万人	2,349万人	2,861万人			3,100万人 (R7)	92.3%
	多言語化など、縄文文化の理解促進 に向けて新たな取り組みを行った施 設数（渡島地域）	1施設 (R2)	10施設	11施設	11施設			11施設 (R7)	100.0%

# 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
未来技術の導入などによる産業振興・担い手確保プロジェクト	空知の耕作面積の維持	113,600ha (R2)	113,600ha	113,500ha	113,500ha			113,600ha (R7)	99.9%
	新規高卒者管内企業就職率	60.9% (R2)	59.5%	60.3%	52.0%			63.9% (R6)	81.4%
地域の歴史や資源を活かした空知の魅力発信プロジェクト	「そらち・デ・ビュー」公式SNSのフォロワー数	6,522人 (R2)	10,101人	14,221人	20,120人			14,500人 (R7)	138.8%
	管内への観光入込客数	1,232万人 (R1)	852万人	1,159.6万人	1,274.46万人			1,278万人 (R6)	99.7%
	移住相談件数	574件 (R2)	777件	821件	781件			687件 (R7)	113.7%
空知と多様な形に関わりを持つ人材創出プロジェクト	新規高卒者管内企業就職率（再掲）	60.9% (R2)	59.5%	60.3%	52.0%			63.9% (R6)	81.4%
	移住相談件数（再掲）	574件 (R2)	777件	821件	781件			687件 (R7)	113.7%
	認定こども園設置数	20カ所 (R2)	20カ所	20カ所	20カ所			22カ所 (R7)	90.9%
石狩の若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト	新規大卒道内就職者の3年以内の離職率	36.4% (R1)	34.6%	33.9%	35.7%			前年度より改善 (R7)	—
	石狩地域の新規学卒・参加者の就農者数	16人 (R2)	14人	8人 (延べ22人)	12人 (延べ34人)			5年間(R3～R7)で延べ80人増	42.5%
	若年層（15～29歳）の首都圏への転出超過数	3,352人 (H30)	2,400人	2,782人	3,242人			3,139人 (R6)	96.8%

# 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 （目標年）	進捗率
石狩観光スタイルと石狩の食の魅力ブランド化推進プロジェクト	観光入込客数	1,336万人 (R2)	1,577万人	2,349万人	2,861万人			3,100万人 (R7)	92.3%
	農商工連携・6次産業化支援データベースの新規登録件数 (R2～R6の5年間で新規登録38件以上)	12件 (R2)	8件 (累計20件)	7件 (累計27件)	5件 (累計32件)			累計38件以上 (R6)	84.2%
	石狩の食の商品開発及び販路拡大等の相談機会の確保（相談件数） (R4～R6の3年間で60件以上)	28件 (R4)	—	28件 (累計28件)	16件 (累計44件)			60件以上 (R6)	73.3%
安心して子どもを産み育てられる“いしかり”環境づくり促進プロジェクト	地域子育て支援拠点数	36拠点 (R2)	36拠点	37拠点	38拠点			38拠点 (R6)	100.0%
	北海道働き方改革推進企業認定制度の認定企業数	109企業 (R2)	139企業	149企業	153企業			204企業 (R7)	75.0%
自然環境と調和した誰もが安心して暮らせる“いしかり”まちづくりプロジェクト	協働により実施する石狩地域での木育活動	12回 (R1)	13回	19回	18回			22回 (R7)	81.8%
	石狩地域のエゾシカ捕獲推進プラン目標数の達成	—	1,736 /1,800	2,045 /2,700	2,689 /2,700			毎年度設定	99.6%
	石狩地域の自主防災組織活動カバー率	61.6% (R2)	65.4% (84.4%)	65.5% (84.7%)	88.1% (85.4%)			全国平均値	103.2%
	石狩地域のクリーンパートナー登録団体数	96団体 (R2)	97団体	102団体	115団体			150団体 (R7)	76.7%

# 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト	新品種農産物（シャインマスカット）出荷量	2,520kg (R2)	3,077kg	5,117kg	9,503kg			6,000kg (R6)	158.4%
	新規就農者数	34人 (R1)	33人	25人	25人			34人 (R7)	73.5%
	管内製材・木材チップ工場における原木消費量	69,000m <sup>3</sup> (R2)	69,852m <sup>3</sup>	69,757m <sup>3</sup>	56,785m <sup>3</sup>			77,000m <sup>3</sup> (R7)	73.7%
	新規漁業就業者数	7人 (R2)	6人	7人	10人			9人 (R7)	111.1%
国際観光リゾートエリアとしての持続可能な観光地づくりと広域観光展開プロジェクト	観光入込客数	2,142万人 (R1)	1,034万人	1,543万人	2,290万人			2,500万人 (R7)	91.6%
ShiriBeshi多文化共生の「まち・ひと・しごと」づくりプロジェクト	管内就職件数（ハローワーク）	2,694人 (R1)	2,130人	2,226人	2,216人			2,694人 (R7)	82.3%
	管内外国人住民数	3,447人 (R2)	2,565人	3,261人	6,328人			5,200人 (R7)	121.7%

# 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
脱炭素社会を創造する 「いぶり」産業展開プロジェクト	道企業立地促進費補助金認定申請数	5件 (R2)	2件	4件	2件			10件 (R7)	20.0%
	製造業の付加価値生産性	1,438万円 (H30)	1,619万円 (R1実績)	1,644万円 (R2実績)	2,041万円 (R3実績)			1,805万円 (R7)	113.1%
	従業員数4~29人の事務所における常用雇用者数	4,340人 (H30)	4,185人 (R1実績)	3,824人 (R2実績)	統計の廃止があったため 数値の取得不可			4,800人 (R7)	—
	電気自動車、燃料電池車、天然ガス自動車、プラグインハイブリッド自動車の合計台数（室蘭運輸支局管内）	601台 (R1)	658台 (R2実績)	782台 (R3実績)	911台 (R4実績)			1,500台 (R7)	60.7%
	新エネルギー導入量（発電設備容量）	86.7万kW (R2)	89.0万kW	99.1万kW	108.6万kW			122.2万kW (R7)	88.9%
	間伐の実施面積	6,590ha (H27~R1 累計)	982ha	1,650ha	832ha			9,100ha (R3~R7 累計)	38.1%

# 評価指標（KPI）一覧

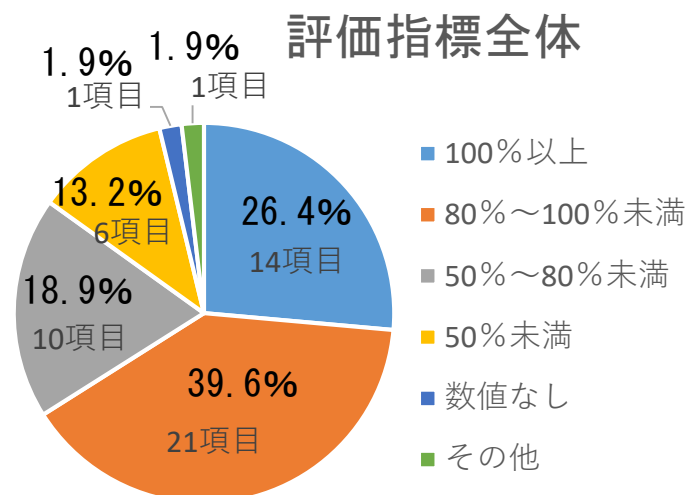
プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 （基準年）	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 （目標年）	進捗率
住みたい・訪れたい 「いぶり」地域づくり プロジェクト	管内への観光入込客数	1,618万人 (R1)	948万人	1,418万人	1,642万人			1,794万人 (R7)	91.5%
	地域おこし協力隊の隊員数	53名 (R2)	76名	86名	111名			59名 (R7)	188.1%
	食品工業の付加価値額	268億円 (H30)	297億円 (R1実績)	311億円 (R2実績)	454億円 (R3実績)			287億円 (R7)	158.2%
	新規就農者	98人 (H28-R2累計)	23人	15人	20人			121人 (R3-R7累計)	47.9%
	新規漁業就業者数	103人 (H28-R2累計)	8人	3人	3人			113人 (R3-R7累計)	12.4%
	新規林業参入者数	34人 (H27, H29, H31 累計)	9人	隔年調査	12人			35人 (R3, R5, R7累計)	60.0%
	新規高卒者の管内就職内定率	71.8% (R2)	70.7%	68.5%	69.1%			73.0% (R7)	94.7%

# 評価指標（KPI）一覧

プロジェクト名	評価指標（KPI）	基準値 (基準年)	R3	R4	R5	R6	R7	目標値 (目標年)	進捗率
「ひだか」製品のブランド力向上と消費拡大プロジェクト	ウニの単価向上	8,600円/kg (R1)	12,470円/kg	12,665円/kg	6,394円/kg			14,100円/kg (R7)	45.3%
	軽種馬生産規模の維持	5,873頭/年 (R1)	6,165頭/年	6,147頭/年	6,239頭/年			5,900頭/年 (R7)	105.7%
「ひだか」の産業を支える人材確保・育成プロジェクト	新規就業者数（農業）	14人 (R1)	19人	12人	15人			25人	60.0%
	新規就業者数（漁業）	11人 (R2)	9人	4人	10人			14人	71.4%
「ひだか」の魅力発信と観光の振興プロジェクト	宿泊客延数	230千人 (R1)	157千人	181千人	190千人			266千人 (R7)	71.4%

## 分析・対応方向

- ・ 全体評価指標のうち、35の指標が進捗率80%を超え、14項目が目標値を達成している。
- ・ 観光入込客数については、新型コロナウイルス感染症が5類に移行したほか、旅行支援事業の実施、インバウンドの回復などにより、目標値に向けて順調に推移している。
- ・ 石狩管内では若年層（15～29歳）の首都圏への転出が超過している状況から、道央圏全体で「新規高卒者管内企業就職率」の上昇や「新規就業者数」の増加など地域産業の担い手確保に取り組む必要がある。
- ・ 今後については、市町村をはじめとした関係機関と連携しながら、各プロジェクトの目標達成に取り組む。

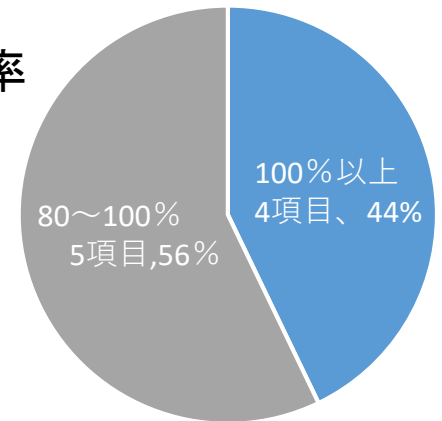


# 評価指標（KPI）一覧

## 分析・対応方向（空知地域）

- ・ 9つの評価指標のうち、全て評価指標が進捗率80%を超えており、そのうち4つの指標が目標値を達成している。
- ・ 空知の耕作面積は、省力化技術の活用などスマート農業の推進により、微減に留まっている。
- ・ 新規高卒者管内企業就職率は、昨年比べて8.3%低下しており、今後も推移を注視する必要がある。
- ・ 「そらち・デ・ビュー」公式SNSのフォロワー数は、基準値（6,522人、R2）に比べ、3倍程度まで大幅に伸びており、政策効果の発現が見られる。
- ・ 観光入込客数については、前年度と比較すると9.9%の増加となり、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度の入込客数と比較しても増加している。
- ・ 認定こども園設置数は、現状維持となった。
- ・ 移住相談件数については、目標値は大きく上回っており、今後も移住・定住に向けた情報発信及び移住相談・体験を促進していく。
- ・ 令和7年度も引き続き、市町や関係機関の皆さまと連携しながら、各プロジェクトの達成に向け取組を進めていく。

### 評価指標全体の進捗率

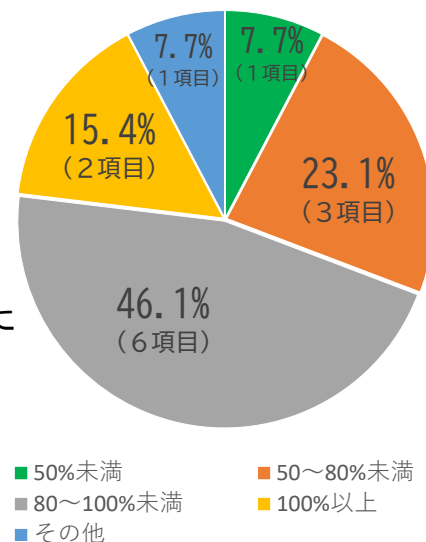


# 評価指標（KPI）一覧

## 分析・対応方向（石狩地域）

- ・ 13の評価指標のうち、進捗率50%を超える指標が11あり、そのうち進捗率80%以上が8つとなっており、2つの指標が目標値を達成。
- ・ 若年層（15～29歳）の首都圏への転出超過数は、基準値より下回っているものの、令和4年より悪化しているため、引き続き、管内大学と連携した大学生の地域活動や小中学校への出前授業・体験学習の実施等による若者の地元定着の促進を図り、指標の推移を注視していく。
- ・ 観光入込客数については、コロナ禍前の水準に戻りつつあることから、今後も国内外での積極的なプロモーション活動やSNS活動などにより観光客を札幌周辺地域へ誘引するプラスワン観光の推進をしていく。
- ・ 北海道働き方改革推進企業認定制度の認定企業数が増加傾向にあり、順調に推移している。都市地域の特性や課題を踏まえながら市町村等と連携し、安心して子どもを産み育てられる環境づくりに向けた取組を実施する。
- ・ 令和7年度も引き続き各市町村や関係機関と連携しながら、各プロジェクトの目標達成に向け、取組を推進してまいります。

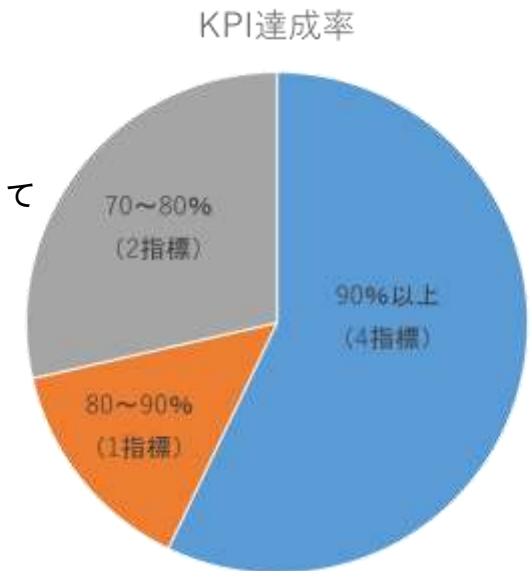
## 評価指標全体の進捗率



# 評価指標（KPI）一覧

## 分析・対応方向（後志地域）

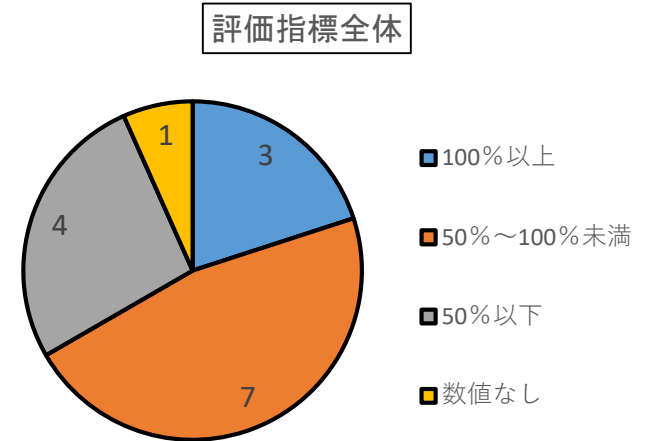
- ・ 7の評価指標のうち、全て評価指標が進捗率70%を超えており、そのうち3つの指標が目標値を達成している。
- ・ シャインマスカットの出荷量は、技術支援や、PR活動等による、ブランド化の効果で前年と比べて4,386 kg増加している。  
【 5,117 kg (R4) → 9,503 kg (R5) 】
- ・ 新規漁業就業者数は、漁業就業支援フェア等の効果で前年と比べて3人増加している。  
【 7人 (R4) → 10人 (R5) 】
- ・ 管内外国人住民数は、新型コロナウイルス感染症の流行による入国規制が緩和された影響で、前年と比べて3,067人増加している。  
【 3,261人 (R4) → 6,328人 (R5) 】
- ・ 観光入込客数については、前年と比べて700万人以上増加しており、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度の入込客数と比較しても増加している。  
【 1,543万人 (R4) → 2,200万人 (R5) 】
- ・ 新規就農者数や管内就職件数については、全国的な労働力不足もあり、現状、目標達成には至っていないが、引き続き説明会の開催や移住フェアでのPRなどを通じて取組を推進する。  
【新規就農者数 25人 (R4) → 25人 (R5) 】  
【管内就職件数 2,226人 (R4) → 2,216人 (R5) 】
- ・ 原木消費量については、地材地消の促進を図るため、有識者を招いた勉強会等の開催により、管内企業へPRを行う。  
【 69,757㎡ (R4) → 56,785㎡ (R5) 】



# 評価指標（KPI）一覧

## 分析・対応方向（胆振地域）

- 15の評価指標のうち、10の指標が進捗率50%を超え、内3の指標が目標値を達成している。
- 新規高卒者の管内就職内定率は69.1%と低調であるが、観光入込客数の復調や地域おこし協力隊の隊員数の大幅増加など、地方移住における胆振地域の注目度は高まりつつあると考えられる。
- 令和7年度の取組にあたっては、ものづくり企業の新分野参入支援や新規就農フェアの開催など、引き続き、胆振地域の産業を支える人材の確保に注力していくとともに、本道における次世代半導体産業進出などの動きを、各指標の進捗につなげていけるよう、関係機関と連携しながら、各プロジェクトを推進していく。

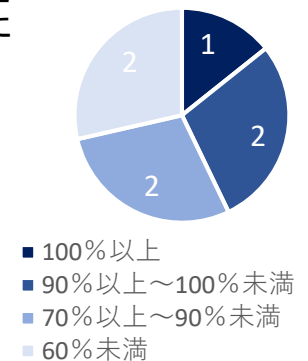


## 分析・対応方向（日高地域）

○各評価指標は、6つの項目で前年比プラスとなっており、うち5つの項目は目標に対する進捗率が70%を超えているなど、概ね順調に推移している。今後も地域との連携・協働を一層強化していきながら、振興局においては地域政策推進事業を中心に、各プロジェクトの推進を図る。

- 「ウニの単価向上」は、市場価格の高いバフンウニの不漁などが原因となり、大幅に落ち込んだ。一方で、「軽種馬生産規模の維持」については高水準で推移しており、目標値を達成している。
- 「新規就業者数（農業）」は、新・農業人フェアでのPRや短期滞在型農業体験等の取組が後押しし増加傾向となっており、「新規就業者数（漁業）」についても、コロナ禍が落ち着き、新規就業者の獲得に向けたPRを行いやすくなったことなどが影響し、回復傾向となっている。
- 「宿泊客延数」は、コロナ禍による大幅な減少から順調に回復しており、増加傾向にある。

評価指標全体の進捗率



## R 7 年度における空知総合振興局の主な取組（地域政策推進事業・地域共創推進事業）①

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
日本遺産「炭鉄港」広域連携加速化事業	日本遺産に認定された「炭鉄港」に対する理解や関心を高め、道内外からの交流人口の拡大を図るため、空知・石狩・後志・胆振の4地域が連携し、人材育成・普及啓発・情報発信などの取組を総合的に推進する。	①
北海道空知魅力発信事業	「空知」ならではの観光・物産やライフスタイル、生活環境などに関する情報を総合的に発信し、空知地域に対する関心や理解度の向上、首都圏等での知名度向上を図り、人とモノの流れの創出を目指す。	③
目指せ「空知人」！ 地域おこし協力隊活動応援事業	空知管内で活動する地域おこし協力隊員が市町村の枠を超えて他の隊員と交流・連携する機会を設け、実践的な課題解決力の習得を後押しすることにより活動の幅を広げ、地域を支える人として定着を図る。	③
空知地域公共交通 維持・確保推進事業	管内のバス路線においては、利用者の減少や運転手不足に伴う減便が相次いでいることから、「北・中・南空知地域公共交通計画」を踏まえ、関係団体や事業者等と連携・協力しながら、運転手人材の確保や輸送資源の効率化に向けた取組を実施し、持続可能な交通体系の構築を推進する。	④
空知の農業・農村未来づくり事業	空知の基幹産業である「農業」において、人口減少に伴う労働力不足や農業機械によるCO2削減、生産資材高騰や地球温暖化への対応を図る。	②③④
空知地域産業人材確保対策事業	合同企業説明会等の実施により、新規学卒者など若者の人材確保・定着に取り組む。	④

※空知地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト	② 一次産業の未来を広げる産業振興プロジェクト
③ 「空知」の魅力発信・誘客促進プロジェクト	④ 「空知」に関わりを持つ人材創出プロジェクト

## R 7 年度における空知総合振興局の主な取組（地域政策推進事業・地域共創推進事業）②

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
空知「食」と「ワイン」の ブランド強化事業	食やワインのブランド化や産地づくりを推進し、空知の主要な産業である食産業の振興を図る。	②③
空知アドベンチャートラベル 推進事業	空知管内の多様な食、観光資源の魅力をアドベンチャートラベルを切り口に情報発信し、マイクロ ツーリズムを一層推進する。	③
空知GX産業集積促進事業	本道がGX金融・資産運用特区に指定された機を捉え、情報発信・普及啓発・人材育成の取組により地域 のGXプロジェクトを推進し、GX分野における地域への波及効果を創出する。	②
そらちゼロカーボンジュニア キャンプ事業	子供たちのゼロカーボン意識の向上を目的として、道内で唯一、環境教育等促進法に基づく「体験の 機会の場」の認定を受けている「雨煙別小学校」と連携し、空知の自然環境を活かしたゼロカーボン に繋がる取組を知る体験型キャンプ（合宿）プログラムを開発・開催する。	③

※空知地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト	② 一次産業の未来を広げる産業振興プロジェクト
③ 「空知」の魅力発信・誘客促進プロジェクト	④ 「空知」に関わりを持つ人材創出プロジェクト

## R 7 年度における石狩振興局の主な取組（振興局独自事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
食と観光の魅力発信プロジェクト事業	市町村、関係団体及び事業者等と連携し、多様なニーズに対応した観光メニューの提供やイベント等を通じた食と観光の魅力発信、管内のキーパーソンとなる人材の育成に取り組む。	②
いしかりエリアローカルツーリズム推進事業	管内の魅力ある観光コンテンツの発掘・磨き上げを図り、客観的な視点から地域の現状を把握して、自らの地域の観光地域づくりに対する取組主体の意識や知識を向上させる。	②
いしかり地域おこし協力隊定住・定着促進事業	管内における地域おこし協力隊員の確保や任期後の定住・定着に向けた取組を行うとともに、いしかり地域おこし協力隊ネットワークの自走化を見据え、任期中の隊員の活動や交流促進を支援する。	①
いしかり地域若者定着促進事業	管内における人口減少の課題への対応として、若者の地域への愛着を醸成し、地域の魅力を発信することで、石狩地域への若者の地元定着・人材還流の促進に向けた取組を実施する。	①
いしかり地域就業促進事業	若手人材が管内企業に関心を向けるべく学生と企業との接点を作り、学生により深く企業を認識させることで、学生の管内企業への就職を促すとともに、管内企業に対して就業環境等の整備を促すための支援を行う。	①
「いしかりシビックプライド」醸成こども応援事業	管内において、安心して子どもを生き育てられる環境づくりを促進するとともに、子どもや子育て家庭を地域で支える体制の充実や環境に配慮したゼロカーボン北海道の推進等を通じ持続可能な地域づくりを推進する。	③

※石狩地域が推進するプロジェクト

①若者の地元定着促進と道外からの人の呼び込みプロジェクト	②食と観光の魅力発信プロジェクト
③安心して子どもを生き育てられる環境づくりプロジェクト	④自然環境と調和したまちづくりプロジェクト
⑤縄文遺跡群などを活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト	⑥日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト

## R 7 年度における後志総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
ShiriBeshi グローカルイン ターンシップ事業	地域でのインターンシップと多文化共生の場を通じたグローバルな人材の育成に取り組むことで、若者を管内に呼び込み、関係人口の増大を目指す。	③
ShiriBeshi ゼロカーボン推 進事業	ゼロカーボン北海道に向けた道民の意識醸成のため、ゼロカーボン北海道に係る各種啓発活動を行うとともに、後志地域の個性・独自性を活かし、企業活動とゼロカーボンの調和の代表的な例として、管内ワイナリーのカーボンニュートラル推進を図る。	②
ShiriBeshi 持続可能な観光 地づくり推進事業	国際リゾートエリアである後志を持続可能な観光地としていくため、地域の「稼ぐ力」を引き出すDMOと連携し、環境負荷が低く、地域経済には高いインパクトを与え、ゼロカーボンにも資する旅行形態であるアドベンチャートラベル（AT）の推進等に取り組む。	②
しりべしゼロカーボン農業 展開事業	化学肥料・農薬の低減に向けた技術実証と、クリーン農業を始めとした地域資源の有効活用・人材育成に取り組む。	①
後志版「ほっかいどう企業 の森林づくり」推進事業	管内のリゾート関係会社等に対し、森林整備を通じたCSR活動として、「ほっかいどう企業の森林づくり」の情報発信及び参画への働きかけを行うとともに、併せて、積極的な地域材の利用を働きかけ、後志地域における森林吸収源対策を推進する。	①
ニセコトレイル利用促進事 業	多様な生物環境や希少な自然地形が分布するニセコ山系において、近年注目されているロングトレイルのコースを設定することで、国立公園の利用者増加と適正な管理を図るとともに、アドベンチャーツーリズムに適したコンテンツであることを活かし、夏季の後志観光を推進する。	②

## R 7 年度における後志総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概要	主な関連プロジェクト(※)
ShiriBeshiの気候風土が育む食のレベルアップ事業	後志管内で意欲的な取組を行う事業者に対し、生産や商品化、販路拡大の各段階で伴走型の支援を行い、後志管内の食に関するレベルアップを図る。	①
後志地域人材確保・人材誘致推進事業	しりべしジョブフェアの開催、北海道移住・交流フェアへの出展などにより管外から人材を呼び込むとともに、高校生向け合同企業説明会、企業見学会の実施により若年者の地元定着促進を図る。	③
後志管内公共交通活性化事業	バス運転手等の確保として移住・交流フェアや就職・転職フェアに関連事業者と連携して出展するとともに、PR動画の作成やHP・各種SNSを活用した情報発信を行う。また、北海道新幹線の札幌延伸に向けた啓発活動についても同様に行う。	②
コウナゴ漁期前調査事業	水産試験場や関係漁業者と連携して、コウナゴ漁期前調査を実施し、漁場におけるコウナゴ資源の状況や魚体サイズを推定。操業の効率化や適切な漁獲時期設定の一助とするほか、今後の自主的な資源管理など、漁業者の意識醸成を図る。	①

※後志地域が推進するプロジェクト

① 農林水産業の持続的発展・ブランド化推進プロジェクト
② 地域資源を活用した持続可能な観光地域づくりプロジェクト
③ 多様性を尊重し誰もが安全安心に暮らせる地域づくりプロジェクト
④ 日本遺産「炭鉄港」を活用した交流人口拡大プロジェクト

## R 6 年度における胆振総合振興局の主な取組（地域政策推進事業）

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
「ゼロカーボン北海道」実現のための胆振アクション－2024－	胆振独自の産官学のネットワークである『TEAM「ゼロカーボンいぶり」』を活用した理解促進と機運醸成の取組を展開し、オール胆振による「ゼロカーボン北海道」の実現を目指す。	⑤⑥
いぶり人材育成・産業活性化推進事業	胆振地域の経済やゼロカーボン北海道を支える人材の育成・確保とともに、就業環境整備や経営安定化へ向けた取組を実施。	⑤⑥
いぶり暮らし・交流促進事業	若者世代をはじめとした移住・定住の促進や交流人口の拡大に向けて、若者世代をターゲットとした移住イベントやワーケーション、地域おこし協力隊の定住支援を行うとともに、修学旅行等を通じた学校間交流を推進する。	⑥
いぶり五大遺産等地域資源魅力発信事業	胆振地域への交流人口・関係人口の拡大を図るため、世界的な価値を有する「いぶり五大遺産」をはじめとした胆振管内の貴重な地域資源を関係団体等との連携により魅力発信するなど、地域創生に向けた取組を推進する。	①②③④⑤
いぶり観光・教育旅行誘致促進事業	縄文遺跡群やウポポイをはじめとした「いぶり五大遺産」などの地域資源を活用しながらプロモーションなどの魅力発信を行うことにより、コロナ禍以降の観光需要の回復を加速させ、インバウンドを含む観光客や道外からの教育旅行の一層の誘致を図る。	①②③④⑥
いぶり・食ブランド推進事業	胆振管内の食の魅力を上向きさせ、消費拡大を図るため、道内外に幅広く「胆振の食」の発信や商品開発支援を行う。	⑥
いぶり地域防災力向上事業	多様な災害リスクを抱える胆振地域において、過去の災害の教訓を活かしつつ、将来を見据えた災害に強い地域づくりに向け、管内自治体の防災DXの導入促進、地域住民の防災活動活性化、多様な災害時のニーズへの対応力向上により、胆振地域の防災対応力向上を図る。	⑥

※胆振地域が推進するプロジェクト

① 日本遺産「炭鉄港」を活かした交流人口拡大プロジェクト	② アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト
③ ジオパークの連携による関係人口等の創出・拡大プロジェクト	④ 縄文遺跡群などを活用した魅力発信と誘客促進プロジェクト
⑤ 脱炭素社会を創造する「いぶり」産業展開プロジェクト	⑥ 住みたい・訪れたい「いぶり」地域づくりプロジェクト

# R 7 年度における日高振興局の主な取組（地域政策推進事業）①

事業名	概要	主な関連プロジェクト(※)
ナナイロひだか人材確保事業	人手不足の解消や人口減少への適応を図るため、職員の副業活動や移住・定住の促進、地元高校生の意見を政策に反映する機会の創出などの取組を通じ、管内外からの人材の確保・育成を推進する。	④
日高アイヌ文化振興支援事業	アイヌ文化の魅力を広く発信することにより、「北海道・日高アイヌ文化」を軸とした交流人口と関係人口の増加を図るため、日高アイヌ文化シンボルマークの作成や各種PR活動に取り組む。	①⑤
日高の未来を担う中高生への「じもと仕事」魅力度向上事業	日高の未来を担う中高生に管内の産業や企業の正しい情報や魅力を幅広く伝えるため、地元の産業を紹介する冊子を作成するとともに、若手社員参加による座談会を開催する。	④
Hidaka×Hotel(H2)プロジェクト(空き家等を活用した宿泊業参入支援事業)	管内の課題である宿泊施設不足の解消のため、空き家等の活用や省人化・無人化のモデル事例を展開することにより、宿泊業への参入を支援する。	⑤
ドラマチックひだか魅力発信事業	道外及び訪日外国人の訪問意欲を高め交流人口の増加や地域経済の活性化を図るため、「国立公園」や「競走馬」、「アイヌ文化」等を活かしたプロモーションを実施する。	②⑤
ひだか「食」の競争力強化事業	日高管内の「食」の消費拡大を図るため、商品カルテ作成支援やグルメフェアの開催を通じ、食関連事業者と連携して日高製品の隠れた強みや良さを発見・PRし、販路拡大を推進する。	③

※日高地域が推進するプロジェクト

① アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト	② ジオパークの連携による関係人口等の創出・拡大プロジェクト
③ 「ナナイロひだか」産業振興プロジェクト	④ 「ナナイロひだか」人材確保・育成プロジェクト
⑤ 「ナナイロひだか」魅力向上・発信プロジェクト	

## R7年度における日高振興局の主な取組（地域政策推進事業）②

事業名	概 要	主な関連 プロジェクト(※)
馬産地ひだか持続的発展事業	軽種馬生産の構造改革や軽種馬産業の従事者・獣医師等の確保、馬産地ひだかのPRや馬文化の普及、ホッカイドウ競馬の支援を通じて、持続可能な地域産業の振興を図る。	③④
新規就農者対策による産地基盤強化事業	日高が持つ「全国一の馬産地」「温暖少雪な気候風土」「港・空港に近い立地」といった強みを生かし、新規就農者の育成・確保及び定着に取り組み、地域の活性化を図る。	④
日高の豊かな海の幸フェス	管内水産物の消費拡大に繋げるため、日高の水産物を教育機関に提供するなど、若い世代に魚食の習慣を普及する取組を推進する。	③④
オールひだか魅力発信推進事業	新冠IC開通に向けた地域資源の活用促進や地域の魅力向上のため、国立公園誕生の好機を捉えて関係機関等と連携し、気運醸成や観光入込客数・交流人口の増加を図る。	②⑤

※日高地域が推進するプロジェクト

① アイヌ文化等の地域資源を活かした日胆地域活性化プロジェクト	② ジオパークの連携による関係人口等の創出・拡大プロジェクト
③ 「ナナイロひだか」産業振興プロジェクト	④ 「ナナイロひだか」人材確保・育成プロジェクト
⑤ 「ナナイロひだか」魅力向上・発信プロジェクト	